

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	eravuすみれ台		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年11月26日		～ 2025年12月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの評価が高く、安心して子供を預けてもらえる環境を提供できている。写真付きの活動報告が好評。	活動の様子を具体的にお伝えし、できたことや今後の課題等を保護者の方へ共有している。日々の関わりだけでなく、進路を視野に入れた取り組みを重視している。	ご家庭の様子や学校での様子を保護者の方や幼稚園等とも共有し、ご家庭、学校等、デイで協力体制を構築していきたい。
2	お子さんの特性に合わせて環境を整え、安心して適切な行動がとれるよう支援している。	お子さんの日常の様子や変化を職員間で共有し、状況に応じた支援方法を検討・実践している。	支援の内容や結果をご家庭と都度共有することで、多方面からの情報を踏まえてより効果的なアセスメントにつなげていきたい。
3	運動・学習・遊びなど、多様なプログラムを用意し、子どもの興味や成長に合わせた活動ができる。季節ごとのイベントや特別活動を通じて、楽しみながら成長できる機会を提供している。	子どもたちがさまざまな経験を積めるよう、毎週異なるプログラムを用意している。また、プログラム参加時にはアセスメントを行い、個々の特性に合わせた内容を提供している。	日常生活や学習に即したプログラムを充実させるとともに、すみれ台の特徴である児発とデイの併設を活かし、異年齢交流プログラムの導入を進めていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	直接支援しているスタッフが支援会議に出ることが難しい。	日常的に支援に携わっている職員は支援会議をする時間に直接支援の業務に携わっていることが多く、会議への出席が難しい。	日々の活動内容や発達状況を共有する時間を設け、児童発達支援管理責任者が主に会議へ出席する。
2	家庭での様子や発達の状況を十分に聞けていない。	日常的な支援内容については事業所から保護者への情報提供は行っているが、保護者からの情報共有の機会は電話や面談時に限られている。	連絡ツールや日常的な声かけを通して、ご家庭での様子をより気軽に共有できる仕組みを整える。
3	防災・緊急時対応の周知が不足している。	保護者への説明の機会が限られており、また避難訓練の実施状況について十分に報告できていないため、事業所の取り組みが十分に伝わっていない。	日々の活動報告やSNSを通じて避難訓練の実施状況を共有する。